

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)  
 【単独・連携事業】

市町名	那須烏山市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	那須烏山市観光交流 創造事業	総事業費	1,485,370	1,888,622	990,000	500,000	500,000	5,363,992
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	740,000			2,740,000
		うち県交付金	500,000	500,000	370,000			1,370,000
2	那須烏山市ふるさと 応援事業	総事業費	1,694,236	1,586,309	2,800,000	2,800,000	2,800,000	11,680,545
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000				2,000,000
		うち県交付金	372,104	500,000				872,104
3	那須烏山市木の駅プロ ジェクト実行委員会	総事業費	2,237,419	1,815,569	2,100,000	1,600,000	1,600,000	9,352,988
		うち市町支出額	479,926	305,505				785,431
		うち県交付金	62,390	116,518				178,908
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	5,417,025	5,290,500	5,890,000	4,900,000	4,900,000	26,397,525
		うち市町支出額	2,479,926	2,305,505	740,000	0	0	5,525,431
		うち県交付金	934,494	1,116,518	370,000	0	0	2,421,012

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市観光交流創造事業
事業主体の名称	クロスアクション
代表者の名称	高橋誠一
事業主体の所在	栃木県那須烏山市金井2-23-15
事業主体の概要	・団体の目的:那須烏山市における交流人口の獲得 ・設立年月日:平成27年6月1日 ・構成員等:7名(那須烏山市に居住し、活動趣旨に賛同する住民)
当該事業に係る地域の現状と課題	那須烏山市は、ユネスコ無形文化遺産登録された山あげ祭をはじめとする観光資源が豊富であるが、市内の観光資源を活用する団体間のネットワーク体制が構築されておらず、パッケージ化して観光受け入れを行ったり、観光客が市内の観光スポットや団体間を流動的に回遊させることが出来ていないほか、市内在住者でさえ地域で活動する団体と接触する機会が希薄であり、郷土愛の醸成がなされていない。
事業目的	地域間交流や市内団体による企画開催などの事業を通して、地域内に住む人の郷土愛と観光客の地域への愛着を育むとともに、社会参画意識を醸成し、市民主体の持続可能なまちづくりの推進に寄与する。
事業概要	【平成29年度】 ○「都市農村交流体験型観光ツアー」コーディネート事業 那須烏山市内での観光を希望する個人や団体向けのツアープランニングし、那須烏山市から八溝地域の魅力を感じてもらいながらこの地域のファンを作り、ファン自らこの地域の魅力や情報を発信してもらえよう流れを作る。 ・夏休み中の都会の親子をターゲットとした山あげ祭体験ツアーや農村体験ツアーなど 体験型観光モニターツアーへの企画協力(全4回) ○地域資源を活用した商品及び体験コンテンツ開発事業 ツアーコーディネート事業の実施時に顧客に提供するための地域性を重視した食品や加工品の開発し、地域資源をPRする。 ・地域資源を活用したお土産品の開発(地ビール、手ぬぐい) ○まちづくりワークショップの企画運営 地域づくり団体や地域内での創業を希望する者の活動を支援する。 ・地域の課題の解決に向けた先進的な取り組みで、他地域のモデルとなるもの 6月 さくらんぼ狩り&ピクニック 2月 味噌作り&うどん打ち ○まちづくりイベント等の企画運営 ・マーケットイベント等の企画・運営又は他マーケットイベントへの出店し、地域で活躍する他団体と交流を深めるほか、来場者へ 那須烏山市のPRをする。 各種イベントに出店(4月、7月、8月、10月、12月) ○情報発信&地域PR SNSを活用し、八溝地域に関する情報を発信した。 市外・県外で地域PR(10月鹿沼、12月池袋) ○コミュニティスペース管理運営 H28にオープンした那須烏山駅前「ぶらっと」を、市民だけでなく市内外からのイベント・セミナー・コワーキング(想定する対象者)等にレンタルスペース、ワーキングスペースとして利用してもらうことで、地域の人が集まり、アクションを起こす場「地域のサードプレイス」としての活用を広げ、定着させる。 7月 ファンドレイジングセミナー開催 12月「空き家バー」オープン(遊休不動産の活用) 【平成30年度】前年度の反省点を反映させ、上記取組を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:本市への新しいひとの流れをつくる KPI:観光入込数 H26年度 471,027人→H32年度 年間70万人以上【H28実績 523,018人】 田舎暮らし体験等の体験ツアー等の参加者数 H26年度 72人→H32年度 200人以上【H28実績 93人】 基本目標:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る KPI:まちづくりチャレンジプロジェクト事業の採択団体数 H32年度 12団体【H28実績 6団体】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	○体験型観光ツアー コーディネート事業 ○都市農村交流イベント 事業 ○ワークショップ企画、 運営事業 ○地域PR事業 ○地域資源を活用した 体験コンテンツのパッ ッケージ化 ○拠点整備	○都市農村体験型観光ツ アーコーディネート事業 ○地域資源の商品活用 及び体験コンテンツの開 発事業 ○ワークショップ企画運営 ○イベント企画運営 ○情報発信及び地域PR ○コミュニティスペースの 管理運営	○体験型観光ツアー コーディネート事業 ○都市農村交流イベン ト事業 ○ワークショップ企画、 運営事業 ○地域PR事業		
事業費	1,485,370	1,888,622	990,000	4,363,992	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	740,000	2,740,000	
うち県交付金	500,000	500,000	370,000	1,370,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	485,370	888,622	250,000	1,623,992	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	那須烏山市まちづくり課 まちづくりグループ
担当者名	阿相美由紀
電話	0287-83-1151
FAX	0287-83-1142
E-mail	machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市ふるさと応援事業
事業主体の名称	那須烏山市ふるさと応援隊
代表者の名称	岡崎 一徳
事業主体の所在	那須烏山市金井2-17-8
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的: 農産物や加工品の販売による農家所得の増加、農業体験を通じた都市と農村の交流</li> <li>設立年月日: 平成27年6月12日</li> <li>構成員等: 7名(那須烏山市に居住し、賛同する住民)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	八溝地域では、農業従事者の高齢化及び担い手不足により耕作放棄地が拡大しているため、安定した雇用の観点からも収益率の高い農産物の生産と販売及び農作物の安定供給が課題である。また、地域外へのPR不足により、観光客等交流人口が低迷している現状(特に都市住民)であり、都市住民を呼び込むため、農家民泊が出来る農家を確保し、交流人口の拡大に結びつくよう、地域を活性化していくことが課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農産物販売や農業体験を通じた耕作放棄地の拡大防止。</li> <li>②農業体験・観光PRによる都市と農村の交流人口の増加。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①農産物の安定供給及び販売拡充(6/8から3/8まで、和光市樹木公園、メロン証券等 計19回販売)</li> <li>・農産物を全て買い取るにより生産意欲が増し、耕作放棄地の拡大を防止。</li> <li>・販売する作物の選定や冬期の農作物の確保。</li> <li>・地元農産物を都市部の東京駅等で販売。</li> <li>・和光市への参加応援及び市で開催のイベント参加。</li> <li>②都市住民との交流に向けた調整</li> <li>・都市住民への地元農産物の販売を通して、本市の観光PRを行い、交流人口の増加を図った。</li> <li>③情報発信</li> <li>・PR用チラシを作成し、販売時に配布。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <p>前年度の反省点を踏まえ、上記事業のブラッシュアップを行っていく。地元農産物の販売により農家の収入増・モチベーションアップを図りつつ、田舎暮らし体験による交流人口の増加という形で地域振興を上積みしていく。また、休耕田を活用した農作物の栽培についても、新商品の開発なども視野に入れて検討課題として取り組んでいきたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 本市における安定した雇用を創出し、安定して働けるようにする。 KPI: 遊休農地面積 H26年度 280ha→H32年度 273ha【H28実績 308ha】</p> <p>基本目標: 本市への新しいひとの流れをつくる KPI: 観光入込数 H26年度 471,027人→H32年度 年間70万人以上【H28実績 523,018人】 田舎暮らし体験等の体験ツアー等の参加者数 H26年度 72人→H32年度 年間200人以上【H27実績 70人】</p> <p>基本目標: 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る KPI: まちづくりチャレンジプロジェクト事業の採択団体数 H32年度 12団体【H28実績 8団体】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度		支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地元農産物を都市部で販売 地元農家受け入れによる農業体験企画 都市部での観光PR	地元農産物を都市部で販売 地元農家受け入れによる農業体験実施 都市部での観光PR			地元農産物を都市部で販売 地元農家受け入れによる農業体験実施 都市部での観光PR
事業費	1,694,236	1,586,309		3,280,545	2,800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000		2,000,000	
うち県交付金	372,104	500,000		872,104	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	694,236	586,309	0	1,280,545	2,800,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	那須烏山市まちづくり課 まちづくりグループ
担当者名	阿相美由紀
電話	0287-83-1151
連絡先 FAX	0287-83-1142
E-mail	machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市木の駅プロジェクト
事業主体の名称	那須烏山市木の駅プロジェクト実行委員会
代表者の名称	大森 正
事業主体の所在	那須烏山市大沢497
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 那須烏山市の森林資源及び市内外の人的資源を活用した里山の環境整備及び林業の活性化</li> <li>・設立年月日: 平成27年6月15日</li> <li>・構成員等: 15名(那須烏山市に居住し、賛同する住民)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	八溝地域では、地元経済の縮小等から人口減となっており、林業従事者の後継者不足等により、林地残材が放置されている。林地残材が放置されないよう、効率のよい残材の回収方法をどうするか、また、回収した残材を木質バイオマス等にすることで有効に活用し、再生可能エネルギーの積極的な利活用を行い、いかに地域経済の活性化を行うかが課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①森林を佳良な状態に整備する。</li> <li>②林地残材の有効活用を通して地域経済の活性化を図る。</li> <li>③再生可能エネルギーの積極的利活用の推進を図る。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域振興券の利用に向けた研究</li> <li>・林地残材を回収した際に市内店舗利用促進となるよう、那須烏山市商工会との連携して地域商品券発行の研究。</li> <li>②林地の残材をバイオマス発電の燃料として販売することによる環境整備(土台作り)</li> <li>・出荷材の確保。会員が林業関係者のため依頼され伐採し、土場(南那須地区)まで運んだ。</li> <li>・林地残材には数量的に限度があるので、会員の持山以外の山地の間伐、雑木林の伐採等も引き受け、民間事業者が採算面で取り組まない部分の地域ニーズに応えた。</li> <li>③素材丸太の取り組み</li> <li>・継続的な運営のため、素材丸太の玉切りを増やし収支の改善を図った。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の反省点を踏まえ、事業を実施。将来的には再生可能エネルギーによる発電施設にバイオマス燃料を利活用できるように取り組んでいく。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る 再生可能エネルギーの積極的利活用の推進 KPI: 再生可能エネルギーによる発電予定量の市域電力使用量に占める割合 H26年度 15.2%→H32年度 30%【H28実績 43%】 KPI: まちづくりチャレンジプロジェクト事業の採択団体数 12団体【H28 8団体】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	平成28年度	平成29年度		支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	林地残材をバイオマス燃料として販売 地域商品券等による地域経済活性化	林地残材をバイオマス燃料として販売 地域商品券等による地域経済活性化			林地残材をバイオマス燃料として販売 地域商品券等による地域経済活性化
事業費	2,237,419	1,815,569		4,052,988	2,100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	479,926	305,505		785,431	
うち県交付金	62,390	116,518		178,908	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,757,493	1,510,064	0	3,267,557	2,100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	まちづくり課まちづくりグループ
担当者名	阿相美由紀
電話	0287-83-1151
FAX	0287-83-1142
E-mail	machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp